

103-171

問題文

経口投与時において、薬物Aの体内動態に薬物Bの併用が及ぼす影響として正しいのはどれか。2つ選べ。

	薬物 A	薬物 B	薬物 A の体内動態に 及ぼす影響
1	ノルフロキサシン	スクラルファート水和物	消化管吸収の低下
2	イトラコナゾール	オメプラゾール	肝取り込みの阻害
3	アセトアミノフェン	メトクロプラミド	尿細管分泌の阻害
4	メルカプトプリン水和物	フェブキソスタット	代謝の阻害
5	ピタバスタチンカルシウム	シクロスポリン	代謝の亢進

解答

1, 4

解説

選択肢 1 は、正しい記述です。
ニューキノロン＋金属イオンによる 相互作用です。

選択肢 2 ですが
オメプラゾールの胃酸抑制作用により、 イトラコナゾールの溶解性が減少し 血中濃度が減少することがあります。 肝取り込みの阻害ではありません。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが
メトクロプラミドの作用により、 胃内容排出速度が上昇します。 その結果、吸収速度が上昇します。 尿細管分泌の阻害ではありません。 よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。
フェブキソスタットが キサンチンオキシダーゼを阻害することで、 メルカプトプリンの代謝を阻害します。

選択肢 5 ですが
シクロスポリンにより CYP3A4 代謝が阻害され、 ピタバスタチンの血中濃度が上昇します。 代謝の亢進では、ありません。 よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,4 です。
参考